

授 業 科 目	装具学実習Ⅳ（上肢装具）		
教 育 内 容	専門分野	装具学	
担 当 教 員	那須祐介、吉岡久恵、田口真哉（手外科領域）		
学 年	3	単 位 数	2
開 講 時 期	前期 手外科領域は後期	時 間 数	実習 90 時間

<b>■授業概要</b>	
手関節背屈保持装具、対立装具（ランチョ型）、対立装具（モールド型）を製作し、その機構を履修する。自主的な知識の習得を目的としたセミナー形式による演習を取り入れる。	
<b>■到達目標</b>	
1) 上肢装具の適応と機能について理解する。 2) 上肢装具を使用した装具療法について理解する。 3) 条件どおりに上肢装具を製作できる。	
<b>■授業内容</b>	
第 1-5 回	オリエンテーション 実習：手関節背屈保持装具（採型、陽性モデル作製、陽性モデル修正）
第 6-8 回	実習：手関節背屈保持装具（プラスチック成形、ベルト製作、トリミング）
第 9-12 回	実習：手関節背屈保持装具（トリミング、仕上げ、評価）
第 13-14 回	実習：短対立装具ランチョ型（型紙作成、金属切り出し）
第 15-18 回	実習：短対立装具ランチョ型（金属切り出し、曲げ加工、組み立て）
第 19-22 回	セミナー：①橈骨神経麻痺と装具、②正中神経麻痺と装具、③尺骨神経麻痺と装具 実習：短対立装具ランチョ型（組み立て、Cバー）
第 23-26 回	セミナー：④頸髄損傷と装具、⑤上肢の骨折と装具、⑥手指の腱損傷と装具 実習：短対立装具ランチョ型（仮合わせ、評価、仕上げ）
第 27-30 回	セミナー：⑦肘・肩関節の疾患・損傷と装具、⑧手指の疾患・損傷と装具、⑨拘縮と装具 実習：短対立装具ランチョ型（仮合わせ、評価、仕上げ）、長対立装具（材料切り出し）
第 31-33 回	実習：長対立装具ランチョ型（曲げ加工、組み立て、評価、仕上げ）
第 34-37 回	実習：虫様筋バー（型紙作成、曲げ加工、組み立て）
第 38-41 回	実習：虫様筋バー（評価、仕上げ、締結、ベルト）
第 42-45 回	実習：短対立装具モールド型（採型、陽性モデル作製、修正）
第 46-49 回	実習：短対立装具モールド型（プラスチック成形、トリミング）
第 50-53 回	実習：短対立装具モールド型（評価、仕上げ）
第 54-57 回	スプリント製作（手外科領域）

<b>■ 評 価 方 法</b>
本科目の評価は、「セミナー発表」、「最終試験」、「製作実習」を総合して行う。 【評価配分】セミナー発表 30%、製作実習 40%、最終試験 30% 注）セミナー資料を発表の前日 19:00 までに提出し、前日のうちに資料として配布を完了しておくこと。セミナー発表日に発表できない者に対しては、評価を 0 点とする。

## ■ 教科書

装具学 第4版、医歯薬出版

義肢装具のチェックポイント 第9版、医学書院

## ■ 留意事項・その他

<担当科目における教員の実務経験>

那須祐介：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に6年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として2年間勤務。

吉岡久恵：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に9年間従事。その後、教員（常勤・非常勤含め）として17年、本学院義肢装具学科の専任教員として4年間勤務。

田口真哉：外部講師。社会医療法人抱生会丸の内病院上肢外科センター リハビリテーション部 作業療法士